

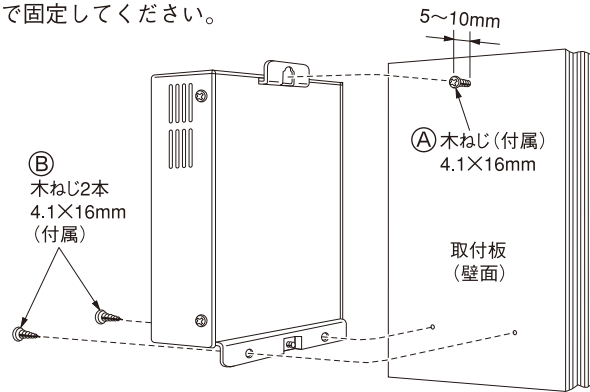
## 標準性能表

※1 増幅・カット切替式  
 ※2 上記70/770MHz(EQ6dB ON時)の値 デジタル信号-10dB運用 フラット時の値 97(57波)・95(74波)

項目	性能		備考
	※1 上り	下り	
周波数帯域 (MHz)	10~55 (帯域切替時 30~55)	70~770	
利得 (dB)	16~20	24~28	
阻止減衰量 (dB)	30以上	—	上り切替 カット時
利得調整範囲 (dB)	0~-10以上	0~-10以上	連続可変
帯域内利得偏差 (dB)	3以下	4以下	
利得安定度 (dB)	±1.0以内	±2.0以内	-10~+40℃
周波数特性等化器[EQ] (dB)	—	0, 6 [70MHz]	切替
適正入力レベル (dBμV)	90~100	70~80	
標準出力レベル (dBμV)	110(2波) 107(4波)	※2 94/100(57波) 92/98 (74波)	
雑音指数 (dB)	10以下	10以下	最大利得時
入出力インピーダンス (Ω)	75		F型接栓座
電圧定在波比	2.5以下		
相互変調 (dB)	-60以下	—	標準出力レベル時
複合2次歪[CSO] (dB)	—	-60以下	標準出力レベル時
複合3次歪[CTB] (dB)	—	-60以下	標準出力レベル時
ハム変調 (dB)	-60以下		標準出力レベル時
出力モニタ結合量 (dB)	-20±1.5以内		
耐雷性 (kV)	±15 (1.2/50μs)		
不要放射 (dBμV/m)	34以下		3m法による
電源電圧 (V)	AC100(50/60Hz)		
消費電力 (W)	上り増幅	約8	
	上りカット	約7	

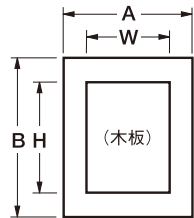
## 壁面取付方法

- Ⓐ 付属の木ねじで本体上部を固定してください。  
 Ⓑ 上部を止めた後、本体下部を付属の木ねじ2本で固定してください。



## 収納箱への設置

- 収納箱に入れて使用する場合は、換気孔等のある収納箱を使用し、できるだけ通風性の良い大型の物を使用して温度管理に十分注意してください。



## ●鉄箱(木箱)寸法例

タイプ	箱		木板		種別
	A	B	W	H	
1	700	700	600	600	本器 1台
2	1000	500	900	400	4分配器 1個
3	500	1000	400	900	

お客様窓口 **0570-091039** ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243  
 ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30 (土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)

# 日本アンテナ株式会社

本社 〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)  
 (ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>  
 ※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。  
 7110863 平成28年10月

## 保証書

型名	<b>N7A282</b>		製造番号
お客様	お名前		
	ご住所		
		電話番号 ( )	
お買上げ日	取扱販売店名・住所・電話番号		
年 月 日			
保証期間(お買上げ日より)	本体1年 (但し消耗品は除く)		

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。なお弊社支店・営業所・出張所は別紙の店所一覧をご覧ください。

### 〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。  
 ① 無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買上げの販売店にお申し付けください。  
 ② お買上げの販売店に無料修理を依頼されない場合は、最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお申し付けください。  
 なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。

(裏面に続きます)

**NIPPON ANTENNA** **取扱説明書**  
 —保証書付—

## 屋内用双方向CATV増幅器(10~55/70~770MHz)

MODEL **N7A282**

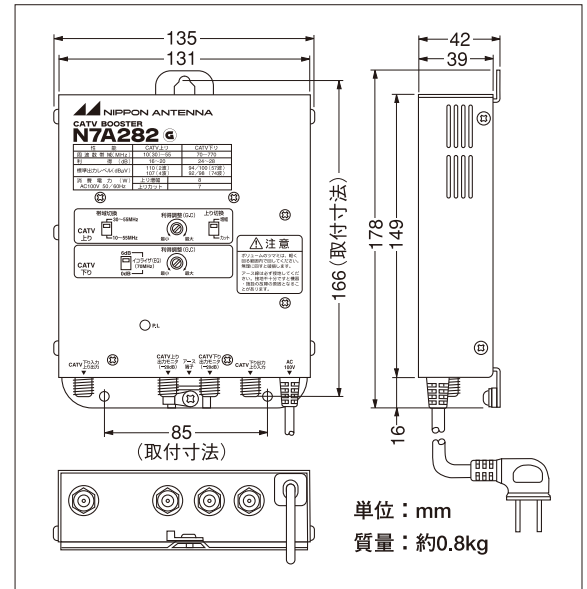
●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。

## ■特長

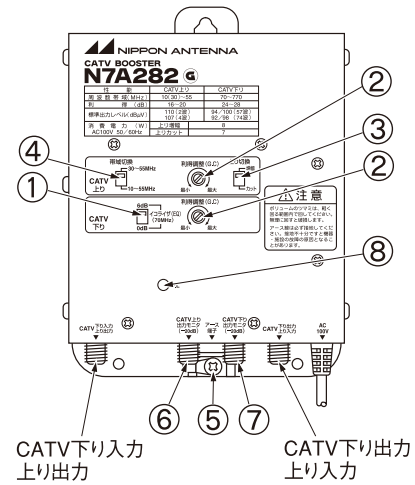
- 本器はCATV上り(10~55MHz)、下り(70~770MHz)を増幅する広帯域ブースタです。
- 上り帯域は、システムに応じて増幅、カットの2タイプにスイッチ操作で切換えられます。
- 流合雑音対策として上り帯域を30~55MHzに切替可能です。
- イコライザ(EQ)、利得調整(G.C)が付いていますので、レベル調整が容易に行なえます。
- 不要放射が34dBμV/m以下と漏洩対策は万全です。
- 付属の木ねじを使用して簡単に、しかも確実に壁面へ取り付けることができます。

●出荷時の設定 CATV上り(上り カット、利得調整 最小、帯域10~55MHz)  
 CATV下り(利得調整 最小、EQ 6dB ON)

## ■外観及び寸法図



## ■各部の名称及び機能



① イコライザ(EQ)	高い周波数の利得を変えずに、低い周波数に向かって利得を下げるができます。
② 利得調整(G.C)	各帯域の利得を調整できます。
③ 上り切替	上り帯域を増幅、カットの2タイプに切換えられます。
④ 上り帯域切替	上りの周波数帯域10~55MHzを30~55MHzに切り換えることができます。
⑤ アース端子	アース線はφ1.6~2.0mmの被覆銅線で完全に接地してください。接地が不十分ですと避雷回路が働かず、機器や施設の故障などの原因になることがあります。
⑥ 上り出力モニタ端子	上り出力端子より20dB低い値を出力します。
⑦ 下り出力モニタ端子	下り出力端子より20dB低い値を出力します。
⑧ パイロットランプ	電源を入れるとパイロットランプが点灯します。

## ■使用上の注意

- 出力モニタは出力レベルより20dB少ない値を指示しますが、出力端子が開放状態や、施設の電圧定在波比が悪い場合は出力モニタレベルは不正確になります。より正確なレベル測定を行う場合は、出力端子を使用してください。

## ■入出力レベルについて

- 入力レベルが規定値より大きい場合

{ ウインドワイパー  
 ビート縞  
 ブロックノイズ } などの障害が生ずることがあります。  
 (デジタル放送の場合)

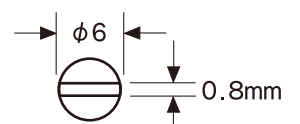
- 入力オーバーの場合の対策

利得調整ボリュームを使用し、標準出力レベルになるように出力レベルを下げてください。  
 利得調整でも補えない場合は、別売のアッテネータを入力端子側で使用してください。

## ■レベル調整時のご注意

- 利得調整等のボリュームのツマミは、径φ6以下のマイナスドライバー、あるいは調整用ドライバーを使用し、軽く回る範囲内で回してください。無理に回すと破損します。

### ●ボリュームの寸法



# 安全上のご注意

絵表示について：この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
<b>絵表示の例</b>		
		△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。
		○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
		●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。

## 警告

- ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。また、同軸ケーブル重畳方式にて動作可能な機器は、表示された重畳電圧を供給してください。その際は電源プラグをコンセントから抜いて使用してください。
- 本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
- 万一、本器を落としたり、破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線、機器には触れないでください。感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づけたり)引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。
- 本器の上面カバー(接続端子部カバーは除く)を外したり、本器を改造したりしないでください。また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。(特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。)

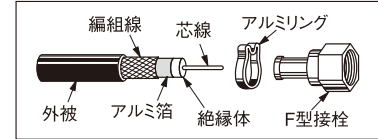
## 注意

- 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所(調理台や加湿器のそば)に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本器の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災・感電の原因となることがあります。
- 直射日光の当たる所、温室やサニールームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて外部の接続コード(アンテナ線、機器間の接続コードなど)、転倒防止金具をはずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

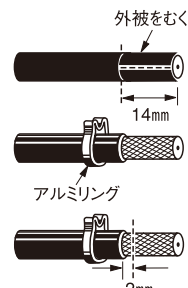
## ●同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法(別売品)

◆用意するもの  
カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

### ■各部の名称



- 1 カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。(深さ1mm程度)
- 2 外被をむき、アルミリングを通しておきます。
- 3 外被から2mm程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。



### ポイント

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかをご確認ください。
- 芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにしてください。
- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。(※同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。)

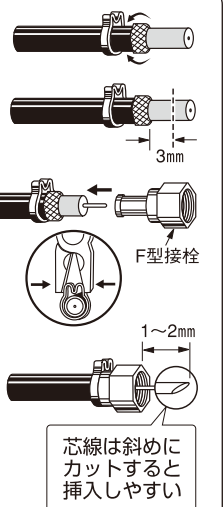
●F型接栓締付トルク 約2.0N・m(約20kgf・cm)

4 編組線をめくりあげます。

5 編組線から3mmはなして絶縁体とアルミ箔を同時に切り、抜きとります。

6 F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりとつぶしてください。

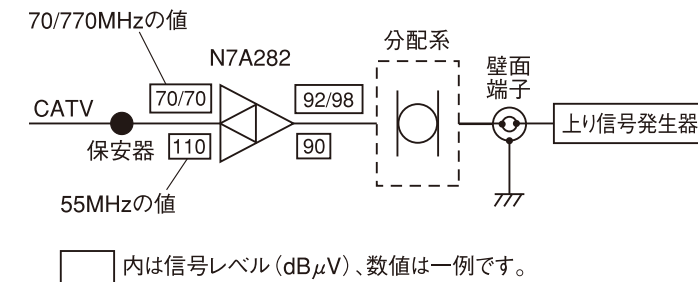
7 芯線の先端は1~2mm出し、斜めにカットしてください。芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。



芯線は斜めにカットすると挿入しやすい

**注意** 加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因となります。

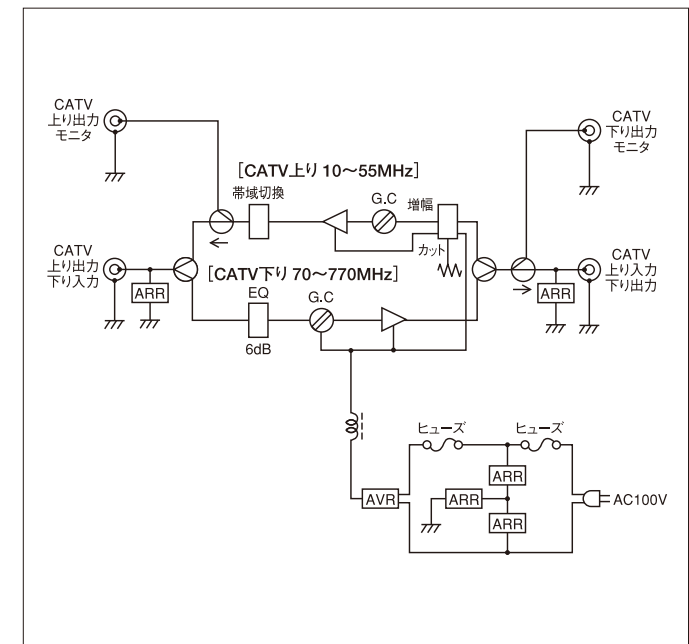
## ■システム例(弊社推奨)



## ●調整方法

1. 下り帯域
  - 最低入力レベルは70dB $\mu$ Vを目安に設定してください。入力レベルが低いとC/Nが劣化します。
  - 増幅器の出力は標準出力レベルになるようにレベルを調整してください。
2. 上り帯域
  - 上り信号発生器の信号を規定のレベルに合わせ、壁面端子より入力してください。
  - 増幅器の出力レベルは、増幅器の標準出力レベルになるようレベル調整してください。

## ■ブロックダイアグラム



2. 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
  - ①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
  - ②お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
  - ③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波など天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障および損傷。
  - ④海岸付近、温泉地等の地域における公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)など腐食性の空気環境に起因する故障および損傷。
  - ⑤ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する故障および損傷。
  - ⑥異常電圧、電気の供給トラブルなどに起因する故障および損傷。
  - ⑦用途以外で使用した場合の故障および損傷。
  - ⑧塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
  - ⑨消耗部品の消耗に起因する故障および損傷。
  - ⑩日本国以外で使用された場合の故障および損傷。
  - ⑪本書のご提示がない場合。
  - ⑫本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3. ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合は、最寄りの弊社支店・営業所・出張所にご連絡ください。

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan)
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ
------

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。  
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。